

令和4年度自己評価結果公表シート

1、園の教育目標

| | |
|---|--|
| 『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。 | |
| 教育目標 | 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる 他人を思いやる心を育てる ありがとうと言える素直な心や、感謝の心を育てる 豊かな精神と丈夫な身体を育てる 基本的な生活習慣を身につける |

2、評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|--------------|---|
| コロナ対策と行事の見直し | ◎コロナ感染対策と行事实施のバランス コロナ禍で、縮小・制限を基本に検討してきた行事だったが、できる限り保護者にも参加してもらえるように、先生方でアイデアを出し合いながら、チャレンジできる子どもを育てるために応援する体制を見直してきた。その中で子どもたちの活動も感染状況を踏まえて制限を緩和することを実施してきた。 |
| 今年度のゴール設定項目 | ◎どんな事にもチャレンジできる 何事にも失敗を恐れずに挑戦したり、失敗を重ねながら成長できるように安心できる言葉がけを大切にしたい。 ◎挨拶が自然とできる 子ども自ら挨拶ができるように、みんなで挨拶することを実践。子どもたちからの挨拶が増えてきた。 ◎相手も自分も大切にできる 自分や相手のことが大切にできるように、感謝の気持ちを大切にしたい。 ◎思いやりがある 相手の話を聞いたり、ありがとうを伝えたりすることを大切にしたい。 ◎物を大切にできる 自分の物や周りの物をていねいに使ったり、片づけたりすることができるように、整理整頓を大切にしたい。 |
| 防災・防犯対策 | 避難（防犯）訓練を毎月行い、様々な災害等をイメージして取り組んだ。 ひとつの災害だけではなく、地震からの津波など複合的に場面を設定して、訓練を行った。 また、実際に消防隊の方やミニ消防車も参加し、初期消火の訓練もおこなった。 災害時や不審人物等の情報がすぐに保護者の方に伝わるようにメール配信システムを活用している。 子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員の門番を配置している。 |
| 送迎バス安全管理 | 送迎バスの運行における安全管理については、マニュアルを見直し、ドライバー、添乗員、担任、管理職で二重、三重でチェック項目を設け、同時にコミュニケーションを大事にしてヒューマンエラーを防止する。 送迎のバスだけでなく、遠足や特別保育でバス利用する際も同様に安全管理に努める。 |

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| |
|--|
| <p>コロナ対策の見直しでは、大きな行事ともいえる運動会やお遊戯会、造形展(作品展)も参加できる人数の制限を緩和し、保護者にも喜んでもらえることができた。それと合わせて、子どもたちが大勢の方に見てもらえることにより、褒めてもらえる機会も増え自信をもつ子どもたちが増えてきた。ゴール設定の項目については園だよりで発信をしながら、保護者の方にもご協力をいただき教職員と子どもたちが関わってきた。その中で、特に子どもたちは相手も自分も大切にしながら思いやることができるようになってきた。防災防犯対策については、特に大和川の氾濫が大きな災害につながることを学び、その備えとなる訓練を重ねることができた。バス安全管理については、教職員全体で意識を高めることができているので、引き続き徹底させていきたい。</p> |
|--|

4、今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---------------------|---|
| 教育内容の充実 | ◎教育内容の質を高める コロナへの対応が大きく変化していく中で、このコロナ禍で経験してきたことを活かして、よりよい教育環境を整え、子どもたちの成長発達につなげていく。 ◎引き続き、新しい年度のゴール設定をもとに狙いをもって取り組んでいく。 ◎人工芝の設置 園庭に人工芝を設置し、子どもが楽しく思い切って園庭で活動できるようにしていく。身体だけでなく気持ちの面でも明るくなるので、子ども含めて先生も保護者も一緒にこの園庭で様々な活動をしていきたい。 |
| 教職員や子どもたちの自己肯定感を上げる | 前向きになる言葉を大切にする 言葉のかけ方ひとつで、相手の受け止め方が大きく変わるので、場面に応じた前向きな言葉がけを意識していきたい。その中で、まずは相手のことを受け入れながら、信頼関係を築いていく。そのためには、相手への言葉がけだけでなく、相手の話をしっかりと聞くことも大切にしていきたい。そして、子どもたちが自信をもってチャレンジしていけるように背中を押していきたい。 |
| 安全管理 | バスの安全管理だけでなく、保育中の子どもたちの安全管理にもしっかりと取り組んでいく。 そして、子どもの安全管理を最優先する。 子どもたちと正しく防災・防犯に対する知識や行動を身につけるようにしていきたい。 |
| 健康管理 | ◎教職員および園児たちの健康管理 コロナは5類に移行したが、コロナだけでなく一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を徹底する。みんなが安心して保育できる環境づくりに努める。 ◎熱中症予防のために、熱中症指数の計測やその状況に合わせた行動基準をもって、子どもたちが健康に安心して活動できる環境をつくる。 |

5、財務状況

| |
|---------------------------------|
| 公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。 |
|---------------------------------|